

菅原工務店は地域の気候や風土、文化を、
お客様と一緒に見たり訊いたり、
共に学んでゆく環境を作りたいと考えて、
様々なイベント活動にチャレンジしています。

SUGAWARA KOUMUTEN SINCE 1972

あんだん^ち家

vol.91



菅原工務店やアイムとご縁のあった皆さまに弊社の最新の活動やスタッフの素顔をお届けする情報誌です。

おかげさまで 45 周年



宮城県大崎市古川旭一丁目10-24 (イオン古川店様北隣)

TEL **0229-23-3670** FAX **0229-22-3617**



メンテナンス



修理

営業時間 9:00~18:00
定休日 水曜日

菅原工務店

富谷ブランチ

TEL 022-342-1746
FAX 022-342-1747



京セラソーラーFC



0120-971-977



社長のコラム

President's Column



工事の安全と無事完成することを祈願。

徐々に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。

先日行われた地鎮祭でのこと。時折晴れ間も差す穏やかな天気の中、宮司さまが祝詞を奏上していると、どこからともなくタヌキの親子が現れたのです。私は午前中だったので時間帯としては珍しい気もするけど、工事を前に伐採した竹藪が恋しいのかなと思いを巡らせていました。こちらを少し気にしながらも距離を保ちつつ、タヌキの親子は隣の敷地へゆっくり歩いて行ったのです。

このことをブログで紹介すると有難いことに知り合いが信楽焼のタヌキの置物を例えて、とても縁起のいい「福タヌキ」だと教えてくれたのです。確かに玄関先などでタヌキの置物を目にしたことがあります。「商売繁盛」、さらには「災いから守ってくれる」意味もあるそうです。



縁起物として有名な信楽焼のタヌキ。



お父さんタヌキ(棟梁)も登場。

東日本大震災から10年、先日もその余震となる大きな地震があり、災害に対する日頃の備えをあらためて意識する機会となりましたが、この日見たタヌキのお父さん(棟梁)に「どうか工事が無事に終わるまで見守っててください」と心からお願いしてみました。

Reform/Renovation

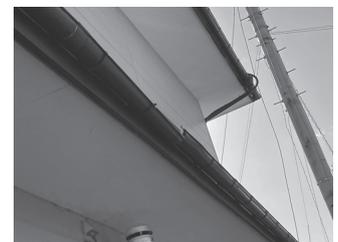


雪害被害と外部塗装について

工務店の**佐々木**です。

前回のあんだん家にてご提案させていただきました、雪害による雨樋修理は、先月よりお問い合わせを大変多くいただいております。

保険会社によっては小さい破損でも費用負担をして頂いております。少しでも雨樋や屋根に不具合がありましたら、まずはお問い合わせ下さい。



塗装が剥がれた屋根



チョーキング現象

足場設置が必要な場合は、外壁や屋根の塗装もご一緒にご検討いただけたらと思います。

イベントのお知らせ

今後開催予定の完成見学会



皆様、お久しぶりです～渡邊です。

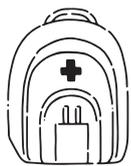
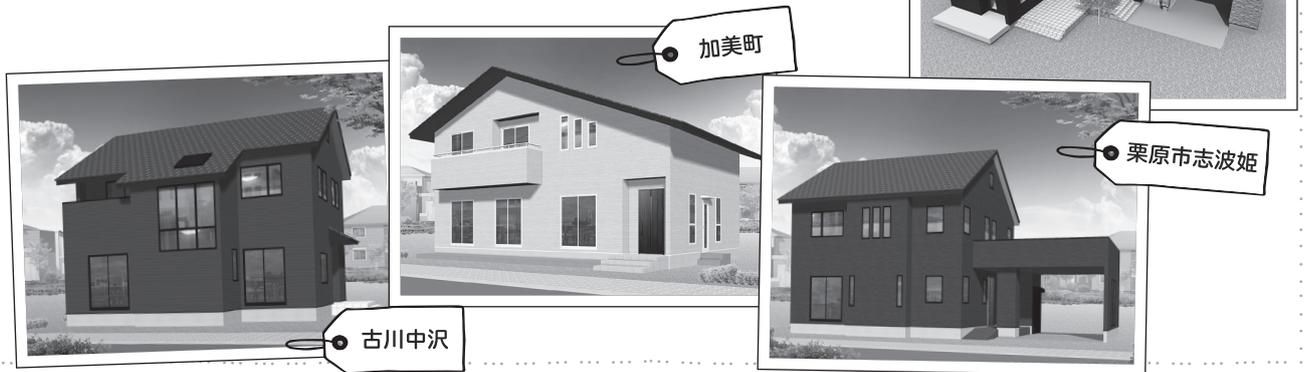
コロナですっかりご無沙汰となっておりますが、ついに4月、古川大宮で完成見学会を開催いたします！

詳細は後日、HPやチラシ等でご案内致しますので、ご興味のある方はぜひお問合せください。

また、今月からは古川中沢と加美町で、来月からは栗原市と蔵王町で写真のようなガレージ付きハウスが、工事スタートとなります。

完成見学会も順次行っていく予定ですので、興味のある方はHPをチェック！

今年の見学会は宮城県の北の端から南の端まで忙しくなりますよ～。



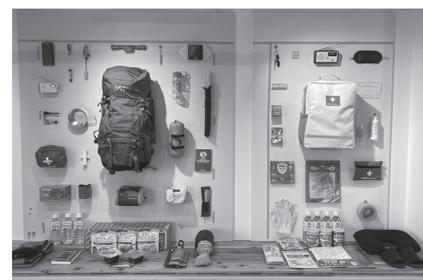
ローリングストック Rolling Stock のススメ



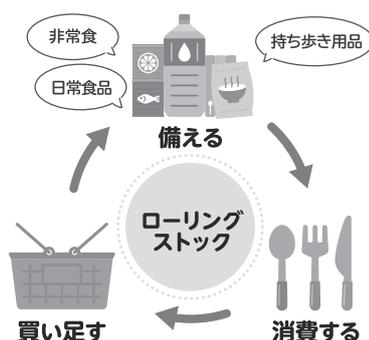
こんにちは！富谷ランチの松田です。

今年は東日本大震災から10年という節目の年ですね。先月の震災以来の大きな揺れに驚かされ、改めて備えることの大切さを意識した方も多いと思います。

防災グッズは、想定する災害や家族構成によって、備えておくべきものは変わってきますが、「水と食料」これだけは最低限、各家庭で備えておきたいですね。



完成に向けて進行中の工務店ミュージアム。防災コーナーもあります。



そこでオススメなのが「ローリングストック」です。

- ① ストックする商品を多めに購入
- ② 賞味期限の近いものから食べる
- ③ 食べた分を買い足す



この方法だと、消費期限が短いものでも保存食にできますし、普段から防災意識が高まります。農林水産省のHPでも取り上げられていますので、ぜひチェックして備えてみてくださいね。

スタッフのつぶやき

いいね! 社長がお気に入りの「つぶやき」を選んで「いいね!」していきます。100「いいね!」でハワイ旅行をGET!?しよう~。皆さんはどれに「いいね!」しますか?

今回の『つぶやき』は…

10年前の震災時活躍した物はなんですか?

「ヘッドライト」
 社長
 釣り用のヘッドライトが活躍しました。あとは、ソーラーライトとヒートテック。

「充電機」
 加藤
 会社の太陽光発電で充電して、懐中電灯やラジオに活躍しました。

「水タンク (20L用)」
 佐々木
 水道が復旧するまでに、2ヶ月近くかかったので、ご近所の井戸と会社から毎日いただいていた。

「太陽光発電と灯油ストーブ」
 岩崎
 停電中は、昼間に太陽光で炊飯、洗濯、TVが見られて、夜に灯油ストーブで暖がとれて、お湯を沸かしたり、軽い調理したり出来たので意外と快適に過ごせました。

「ほうき」
 庄司
 しばらく、電気がこなかったので、家の片付けに大活躍でした。(アナログが一番ですね…)

「自転車」
 野村
 太陽光&蓄電池と言いたいのですが、当時はその存在すら知らず…。ひたすらペダルをこいで、被災地を巡回していました。

「ペンライト」
 千葉
 過去参戦してきた、倅田来未のライブペンライトが唯一の明かりでした。



「マイホーム」
 渡邊
 仕事場が被災して3ヶ月クローズの間、自宅が仕事場に。ソーラーで電気も使える快適でした。

「太陽光発電システム」
 今野
 停電が続いていたにも関わらず、TVや携帯の充電、ジャーなどの調理に大活躍でした。

「ガソリン」
 氣仙
 スタンドの長蛇の列に、こまめな給油の大切さを実感しました。

「ラップやアルミホイル」
 松田
 断水で水が使えないので、お皿に敷いて、汚れたら取り替えて使っていました。

「カセットコンロ」
 菅原
 停電中は、カセットコンロでご飯を炊いていました。

「反射ストーブ」
 菅
 暖もとれ、煮炊きができました。捨てずにいて良かったです。

「ペットボトル」
 佐藤
 1.5Lのペットボトルにお湯を入れ、それをこたつの中に入れて暖をとりました。7時間も暖かさがあったので、助かりました。

「自転車」
 渡邊
 当時は高校生でした。移動しやすいこともあり、基本的に買い出しは自分が自転車で行っていました。

「車用インバータ 100V」
 千葉
 電動工具等を充電して、自宅の修理をしたり、次の日にはすぐ災害復旧に動いていました。

「車」
 檜野
 生まれたばかりの孫が来ていた時で、車に布団を敷いて過ごし、本当に大変でした。

「ガスコンロ & 土鍋」
 長田
 この2つのアイテムと家庭科で教わったこともあり、温かいご飯が食べられました。

編集後記
 寒暖差が大きくなるこの季節は着るものにとっても悩みますよね。そして花粉症の季節。去年はそこまで酷くなかったのですが今年は目にきており、毎日アイメイク崩れと格闘している日々。早く夏来い!!と心の中でつぶやいています。(笑) (千葉)